

## 平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年2月12日

上場会社名 株式会社レーサム 上場取引所 東  
 コード番号 8890 URL http://www.raysum.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 剛  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 片山 靖浩 TEL 03-5157-8881  
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	20,773	12.1	4,010	27.5	3,857	19.7	3,786	5.2
27年3月期第3四半期	18,532	29.7	3,146	26.6	3,222	31.0	3,598	227.9

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 3,776百万円 (1.2%) 27年3月期第3四半期 3,731百万円 (208.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	82.17	82.05
27年3月期第3四半期	78.09	78.08

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	52,204	34,374	65.6
27年3月期	50,548	31,427	61.9

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 34,252百万円 27年3月期 31,305百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	18.00	18.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期（予想）	—	—	—	32.00	32.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,500	34.2	7,900	32.5	7,800	29.7	7,200	22.1	156.25

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	46,081,400株	27年3月期	46,081,400株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	33株	27年3月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	46,081,387株	27年3月期3Q	46,081,400株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高20,773百万円（前年同四半期比12.1%増）、営業利益4,010百万円（同27.5%増）、経常利益3,857百万円（同19.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益3,786百万円（同5.2%増）と、対前年同期比で増収増益となりました。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

## ①資産運用事業

当事業では富裕層のお客様の個々の資産運用目的に応じた不動産運用の仕組みと方法を考え抜き、これに適合する具体的な収益不動産の商品化を進め、商業・オフィスビルからホテル・ホテル、マンションまで、あらゆる用途並びに幅広い価格帯の投資機会を提供させて頂いております。

当第3四半期連結累計期間では、売上高18,176百万円（前年同四半期比16.3%増）、セグメント利益は3,613百万円（同40.1%増）となり、当社主力事業として会社全体の増収増益を牽引しました。

販売面では、個人富裕層の資産家、会社経営者、高額所得サラリーマンに至る多様なお客様の不動産運用のニーズにお応えし、売上高が18,176百万円に達したことで当セグメントの通期売上予想値38,000百万円を達成する上で必要な売上高は残すところ約19,800百万円となりましたが、商品化が進み今期末までに販売可能となる在庫は既に約24,000百万円（販売金額ベース）を確保しており、引続き通期売上予想値を達成すべく販売活動に注力してまいります。また、来期以降に販売可能となる在庫物件については、今期末までに販売可能な上述の24,000百万円とは別個に、当第3四半期末までに約21,200百万円（販売金額ベース）を確保済みです。

## ②プロパティマネジメント事業

当事業では、主に資産運用事業においてお客様が当社から購入され保有されている収益不動産に関して、周辺地域や街の変化を分析・推測し、現況から将来にかけて最適なテナント誘致や各種調整を図り、お客様の保有目的を実現させる賃貸及び建物管理のサービスを行っております。

当第3四半期連結累計期間の当事業の売上高は1,385百万円（前年同四半期比51.7%増）、セグメント利益は541百万円（同286.6%増）となりました。

前年同四半期連結累計期間と比較すると増収増益となっておりますが、これは主に大型物件における保有期間賃料収入約318百万円によるものであります。

## ③サービシング事業

当事業は、主に連結子会社であるグローバル債権回収株式会社が、銀行等の金融機関から、主に自己勘定にて債権を購入し、これらの債権の管理回収等の業務を行っております。

当第3四半期連結累計期間の当事業の売上高は677百万円（前年同四半期比54.7%減）、セグメント利益は197百万円（同72.6%減）となりました。

既存の買取債権からの丁寧な回収活動は着実に進捗しており、担保不動産の付加価値創造の機会を探求する場面では、当社の資産運用事業とのシナジーを積極的に追求してまいります。

## ④その他の事業

当事業においては、主に連結子会社である株式会社アセット・ホールディングスが保有するゴルフ場の「レーサム ゴルフ&スパ リゾート」を運営しております。

当第3四半期連結累計期間のセグメント売上高は534百万円（前年同四半期比8.1%増）、セグメント利益は53百万円（同67.9%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①財政状態の変動状況

## (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて931百万円増加し、47,910百万円となりました。

これは主に、現金及び預金が2,256百万円増加して13,805百万円となった一方で、仕入決済により前渡金が10,100百万円減少して710百万円となり、販売用不動産が前渡金からの増加もあり8,452百万円増加して16,598百万円、仕掛販売用不動産が368百万円増加して10,720百万円となり、買取債権が134百万円減少して3,158百万円となったことによるものであります。

現金及び預金の主な変動要因は、販売用不動産の販売による18,227百万円の増加と仕入による11,336百万円の減少、仕掛販売用不動産の開発進展に伴う工事代金の支払いによる1,080百万円の減少、借入金の返済による1,523百万円の減少、サービシング事業での回収による増加と新規の買取債権による減少、配当金の支払いによる826百万円の減少などによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて724百万円増加し、4,293百万円となりました。

上記の結果、当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて1,656百万円増加し、52,204百万円となりました。

## (負債)

負債は、前連結会計年度末に比べて1,290百万円減少し、17,829百万円となりました。これは主に借入金の返済を6,382百万円行った一方、新規の商品仕入に対応して資金調達を4,810百万円行った結果であります。

## (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2,946百万円増加し、34,374百万円となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により、利益剰余金が3,786百万円増加した一方、配当金の支払を826百万円行ったことが主な要因であります。

なお、当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は65.6%となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）は、前連結会計年度末に比べて1,773百万円増加し、13,223百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な変動要因は、次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は、5,269百万円の増加となりました。主な増加要因は、資産運用事業における売上高18,176百万円とプロパティマネジメント事業における売上高1,385百万円、サービシング事業における債権回収高984百万円に係る資金増加であり、主な減少要因は、資産運用事業における販売用不動産の仕入額11,336百万円と仕掛販売用不動産の開発進展に伴う支出1,080百万円、及び販売費及び一般管理費の支出に係る資金減少であります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は、1,074百万円の減少となりました。主な減少要因は、関係会社株式の取得による支出500百万円と定期預金の預入による支出487百万円などによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は、2,398百万円の減少となりました。主な変動要因は、新規の借入額4,810百万円による増加と借入金の返済による6,382百万円の減少、及び配当金の支払いによる826百万円の減少などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年5月15日の「平成27年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,549	13,805
営業未収入金	136	97
営業投資有価証券	360	265
販売用不動産	8,145	16,598
仕掛販売用不動産	10,352	10,720
買取債権	3,292	3,158
前渡金	10,810	710
繰延税金資産	2,824	2,795
その他	220	441
貸倒引当金	△714	△682
流動資産合計	46,978	47,910
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	676	620
土地	656	656
その他(純額)	123	145
有形固定資産合計	1,456	1,421
無形固定資産		
その他	269	278
無形固定資産合計	269	278
投資その他の資産		
投資有価証券	733	1,481
繰延税金資産	501	501
出資金	10	10
その他	598	600
投資その他の資産合計	1,843	2,593
固定資産合計	3,569	4,293
資産合計	50,548	52,204

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	50	—
1年内返済予定の長期借入金	2,694	635
未払法人税等	76	2
前受金	108	146
賞与引当金	11	2
その他	1,107	1,025
流動負債合計	4,048	1,813
固定負債		
社債	800	800
長期借入金	12,327	12,863
流動化調整引当金	6	48
資産除去債務	4	4
預り敷金	1,933	2,299
固定負債合計	15,071	16,016
負債合計	19,120	17,829
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	12,253	12,253
利益剰余金	18,721	21,678
自己株式	—	△0
株主資本合計	31,074	34,031
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	174	174
為替換算調整勘定	56	47
その他の包括利益累計額合計	231	221
新株予約権	22	22
非支配株主持分	99	99
純資産合計	31,427	34,374
負債純資産合計	50,548	52,204



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	18,532	20,773
売上原価	13,428	14,524
売上総利益	5,104	6,248
販売費及び一般管理費	1,958	2,238
営業利益	3,146	4,010
営業外収益		
受取利息	4	9
為替差益	123	—
その他	2	1
営業外収益合計	130	10
営業外費用		
支払利息	40	88
新株予約権発行費	8	—
財務手数料	4	10
為替差損	—	63
その他	0	0
営業外費用合計	53	164
経常利益	3,222	3,857
特別損失		
固定資産除売却損	—	26
事務所移転費用	15	—
特別損失合計	15	26
税金等調整前四半期純利益	3,207	3,830
法人税、住民税及び事業税	68	15
法人税等調整額	△459	28
法人税等合計	△390	44
四半期純利益	3,598	3,786
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,598	3,786

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	3,598	3,786
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	76	△0
為替換算調整勘定	56	△9
その他の包括利益合計	133	△9
四半期包括利益	3,731	3,776
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,731	3,776
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△0

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,207	3,830
減価償却費	93	95
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△9	△8
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△40	△32
保守補償引当金の増減額 (△は減少)	△43	—
流動化調整引当金の増減額 (△は減少)	0	41
受取利息及び受取配当金	△4	△9
支払利息	40	88
固定資産除売却損益 (△は益)	—	26
売上債権の増減額 (△は増加)	3	39
営業投資有価証券の増減額 (△は増加)	175	94
販売用不動産の増減額 (△は増加)	△1,133	△8,464
仕掛販売用不動産の増減額 (△は増加)	△2,489	△367
買取債権の増減額 (△は増加)	305	134
前渡金の増減額 (△は増加)	△261	10,076
前受金の増減額 (△は減少)	13	39
未払金の増減額 (△は減少)	311	52
未払消費税等の増減額 (△は減少)	22	△240
預り敷金の増減額 (△は減少)	397	339
匿名組合出資金の増減額 (△は増加)	△50	△246
その他	156	△52
小計	694	5,440
利息及び配当金の受取額	1	2
利息の支払額	△38	△86
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	38	△86
営業活動によるキャッシュ・フロー	695	5,269
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△487
有形固定資産の取得による支出	△63	△84
有形固定資産の売却による収入	3	9
無形固定資産の取得による支出	△4	△7
投資その他の資産の取得による支出	△28	△0
投資その他の資産の解約等による収入	50	0
投資有価証券の取得による支出	△13	△2
関係会社株式の取得による支出	△266	△500
貸付けによる支出	△175	△1
貸付金の回収による収入	30	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△466	△1,074
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△50
長期借入れによる収入	2,660	4,810
長期借入金の返済による支出	△1,215	△6,332
自己株式の取得による支出	—	△0
新株予約権の発行による収入	7	—
配当金の支払額	—	△826
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,452	△2,398
現金及び現金同等物に係る換算差額	60	△21
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,742	1,773
現金及び現金同等物の期首残高	8,318	11,449
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,061	13,223

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	資産運用事業	プロパティマネ ジメント事業	サービシング 事業	その他の事業			
売上高							
外部顧客への売上高	15,627	913	1,496	494	18,532	—	18,532
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	30	30	△30	—
計	15,627	913	1,496	524	18,562	△30	18,532
セグメント利益	2,578	140	721	31	3,472	△325	3,146

(注) セグメント利益の調整額△325百万円は、各報告セグメントに配分していない、一般管理費等の全社費用であります。この調整額を差引いた後のセグメント利益の額は、四半期連結損益計算書に計上している営業利益の額3,146百万円と一致しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	資産運用事業	プロパティマネ ジメント事業	サービシング 事業	その他の事業			
売上高							
外部顧客への売上高	18,176	1,385	677	534	20,773	—	20,773
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	307	15	322	△322	—
計	18,176	1,385	984	550	21,096	△322	20,773
セグメント利益	3,613	541	197	53	4,406	△395	4,010

(注) セグメント利益の調整額△395百万円は、セグメント間取引消去△32百万円、各報告セグメントに配分していない、一般管理費等の全社費用△362百万円であります。この調整額を差引いた後のセグメント利益の額は、四半期連結損益計算書に計上している営業利益の額4,010百万円と一致しております。